

スライドドア金物SRW型 施工説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用いただくため、この説明書をよくお読みのうえ、説明にしたがってお間違いのない施工を行ってください。

また施工後は、ご使用になる方へ本書をお渡しください。

警告 この表示を無視、あるいは以下の注意事項をお守りいただけなかった場合、破損等により死亡や大けがなどの人身事故の原因となるおそれがあります。

注意 この表示を無視、あるいは以下の注意事項をお守りいただけなかった場合、正しい組み立てができないばかりでなく、事故等によりけがをしたり家財に損害を与えるおそれがあります。

■施工上の注意

⚠注意

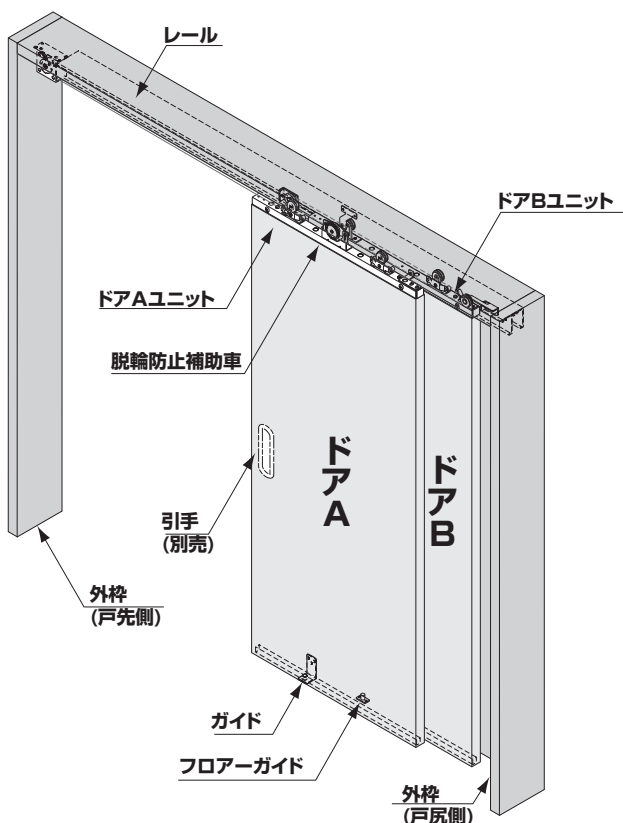
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ずお守りください。枠、ドアの反り、傾きねじれは故障や、本来の動きに影響が出るおそれがあります。
- 一般住宅の室内用ドアとしてお使いください。他の用途へのご使用はおやめください。
- 丁番は、施工後の調整ができないため、枠の調整はしっかり行ってください。
- 各部の取り付けには必ず、手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバー等を使用しますと、ねじの締め込みすぎ等により部品が破損する等、本来の機能を失うおそれがあります。

■使用上の注意

⚠注意

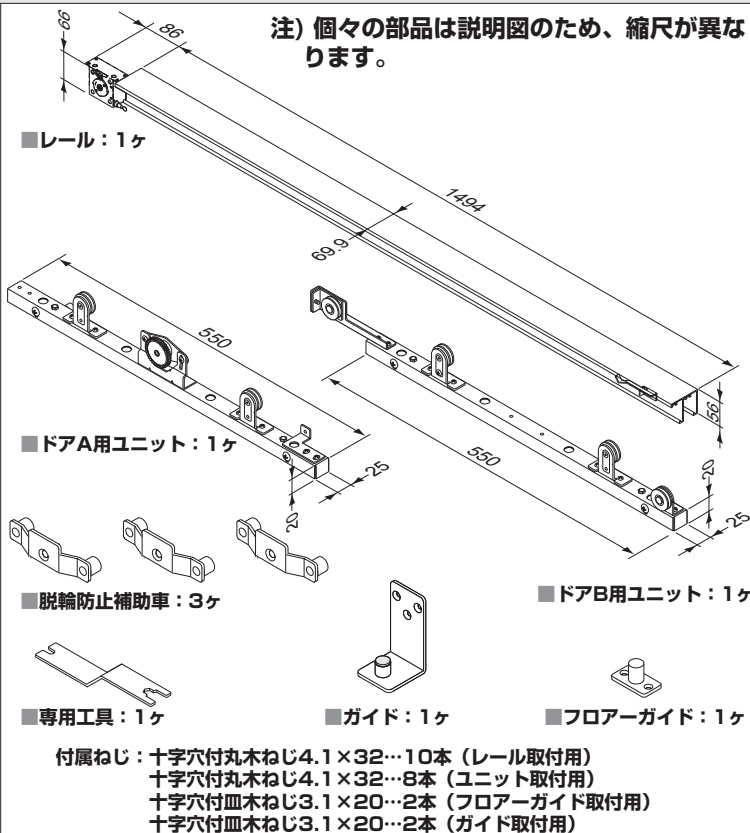
- ドアの開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うとドアを破損したり、脱落するおそれがあります。
- ドアにぶつかったり、もたれたりしないでください。ドアを破損したり、脱落するおそれがあります。
- ドアに指を挟まないよう、引手を持って正しく操作してください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。
- ストーブ等の熱源を近付けないでください。ドアが反り、製品本来の動きを妨げるおそれがあります。

■部品構成 (本図は右引きを示します。左引きは勝手違いとなります。)



ドアA: 引手を取り付ける方のドアです。ドアの移動距離は、ドアBの約2倍になります。

ドアB: 引手を取り付けない方のドアです。ドアAとそで壁の間に挟まれる形になります。



別途ご用意頂くもの

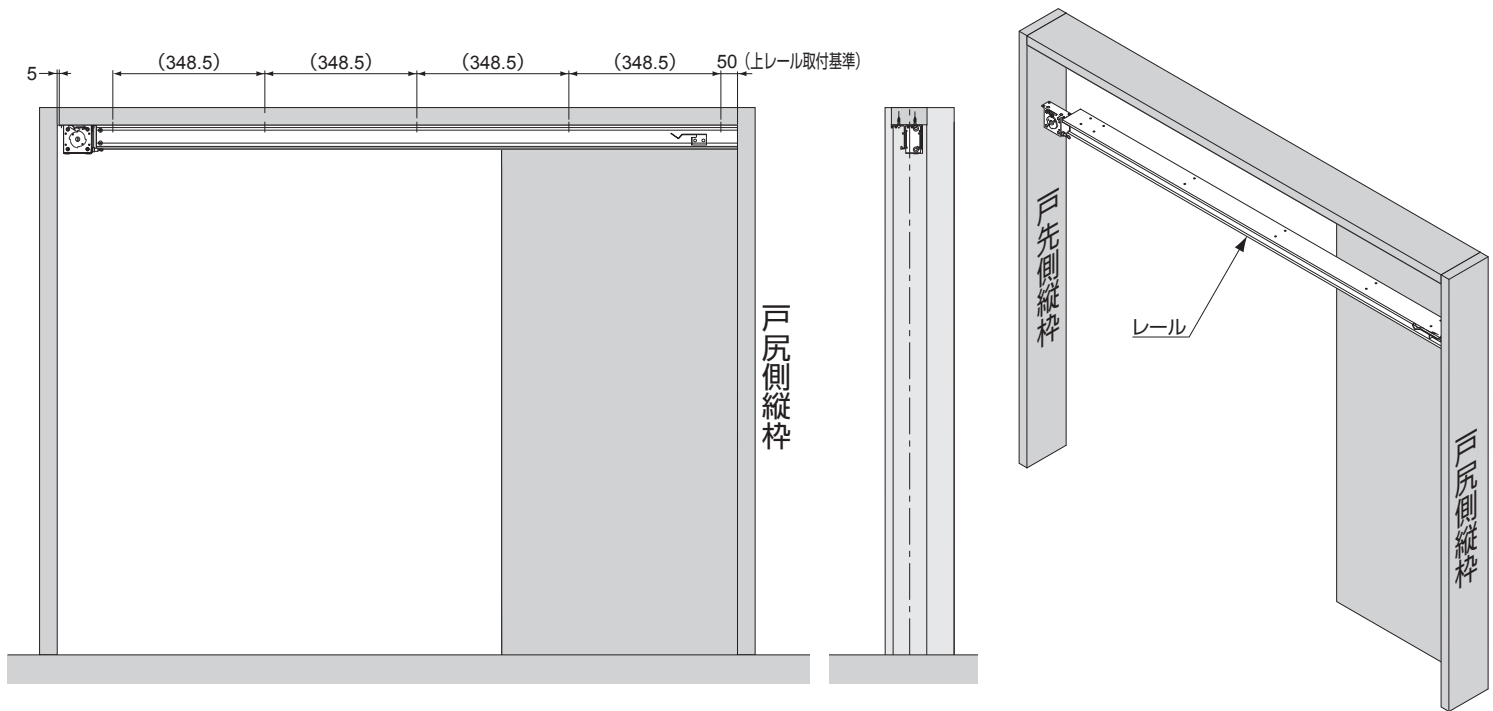
- 掘込引手: 2ヶ (スガツネ: 掘込引手3921型など)
- 回転取手: 1ヶ (スガツネ: ステンレス回転取手HR-RS型など)

戸袋仕様の場合



手順1. レールの取り付け (本図は右引きを示します。左引きは勝手違いとなります。)

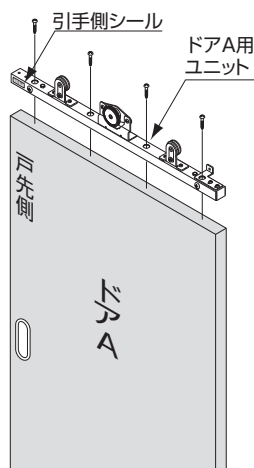
- ・レールを戸尻側縦枠の内側に隙間がないように合わせ、十字穴付丸小ねじ4.1×32…10本で取り付けます。



手順2. ユニット、ガイドの取り付け

■ ドアAへの取り付け

- ・図のように、ドアAの上部へドアA用ユニットを取り付けます。ドアA用ユニット側面の「引手側シール」が戸先側になるよう4本の十字穴付丸小ねじ4.1×32で取り付けます。ドアA用ユニットは、ドア厚の中心に、ドア戸先側の木口面とユニットが面位置になるように取り付けてください。

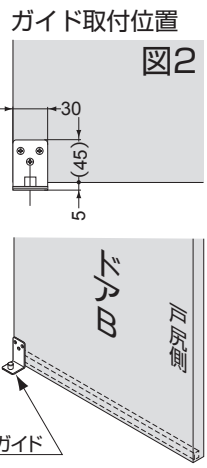
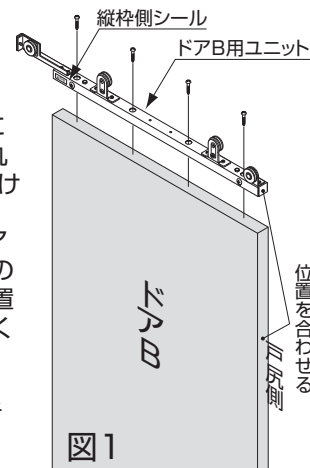


■ ドアBへの取り付け

- ・ドア上木口面へドアB用ユニットを取り付けます。ドアB用ユニット側面の「縦枠側シール」が前面になるよう4本の十字穴付丸小ねじ4.1×32で取り付けます。ドアB用ユニットは、ドア厚の中心に、ドア戸尻側の木口面とユニットが面位置になるように取り付けてください。

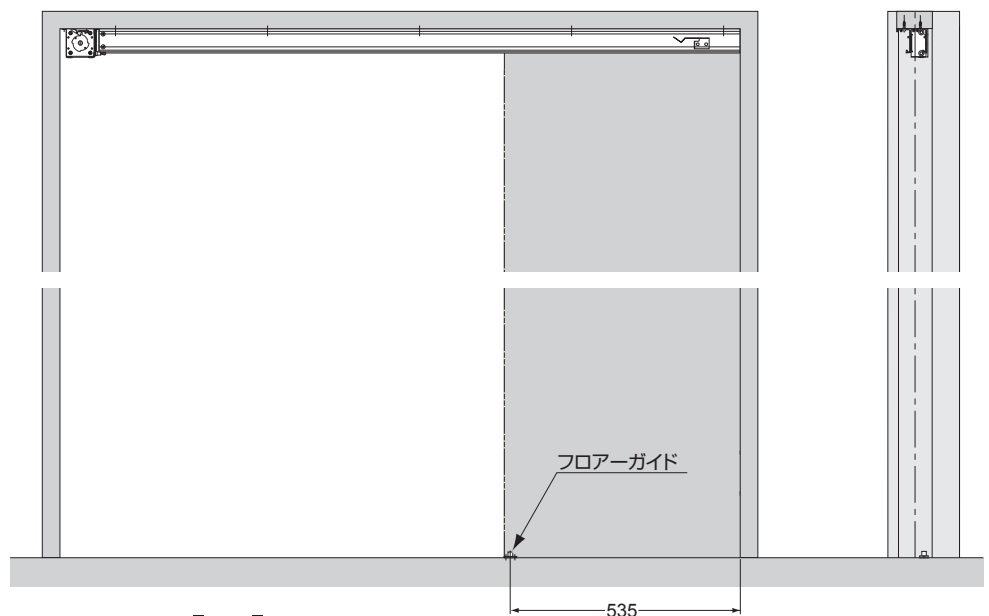
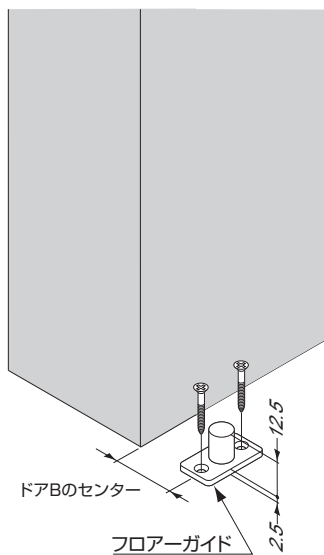
■ ガイドの取り付け

- ・ドアBの下部に図2を参考にガイドを取り付けてください。



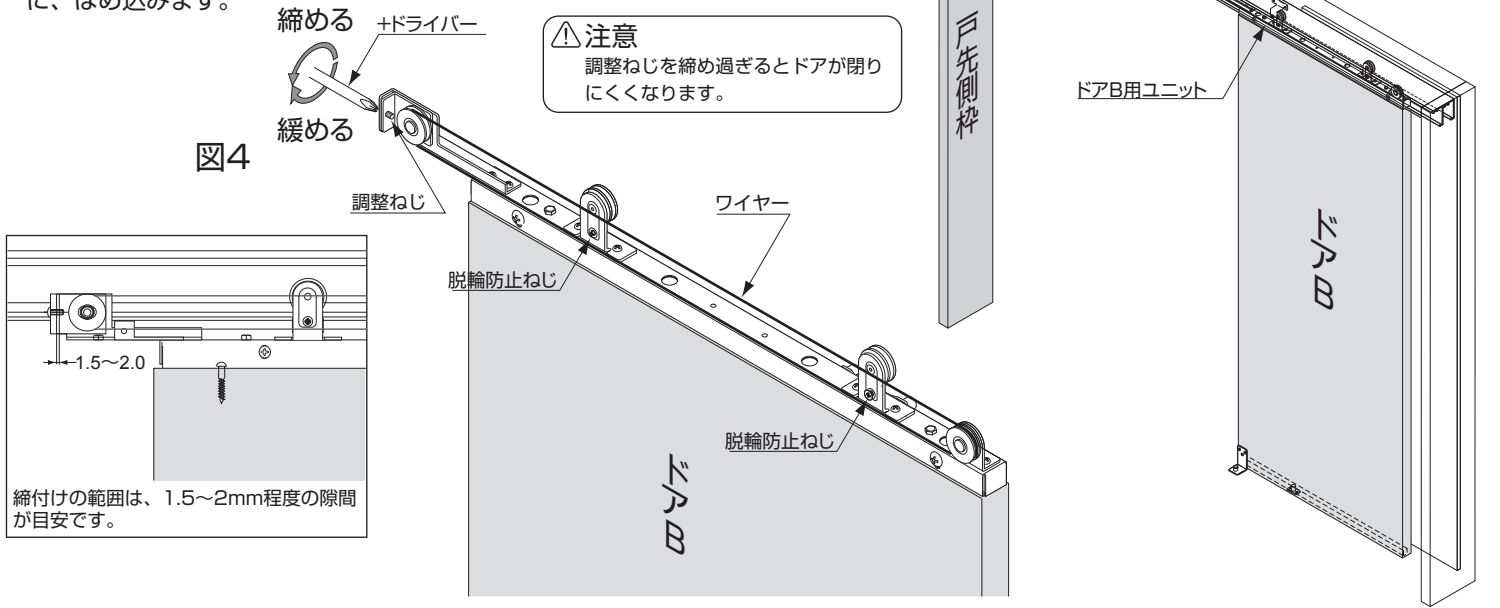
手順3. フロアガイドの取り付け (本図は右引きを示します。左引きは勝手違いとなります。)

- ・右図を参考に、フロアガイドを2本の十字穴付3.1×20皿タッピンねじで取り付けてください。



手順4. ドアBの吊り込み

- ・ドアBを最初に吊り込みます。
- ・吊り込みやすくするため、あらかじめドアB用ユニットの脱輪防止ねじを緩めておきます。
- ・ドア下の加工溝を床のフローガイドに合わせ、レールの奥のガイドに脱輪防止ねじの付いた内側2個のローラーを載せます。(図3参照)
- ・レールに付いているワイヤーを、図4のようにドアB用ユニット両端のローラー溝に、はめ込みます。



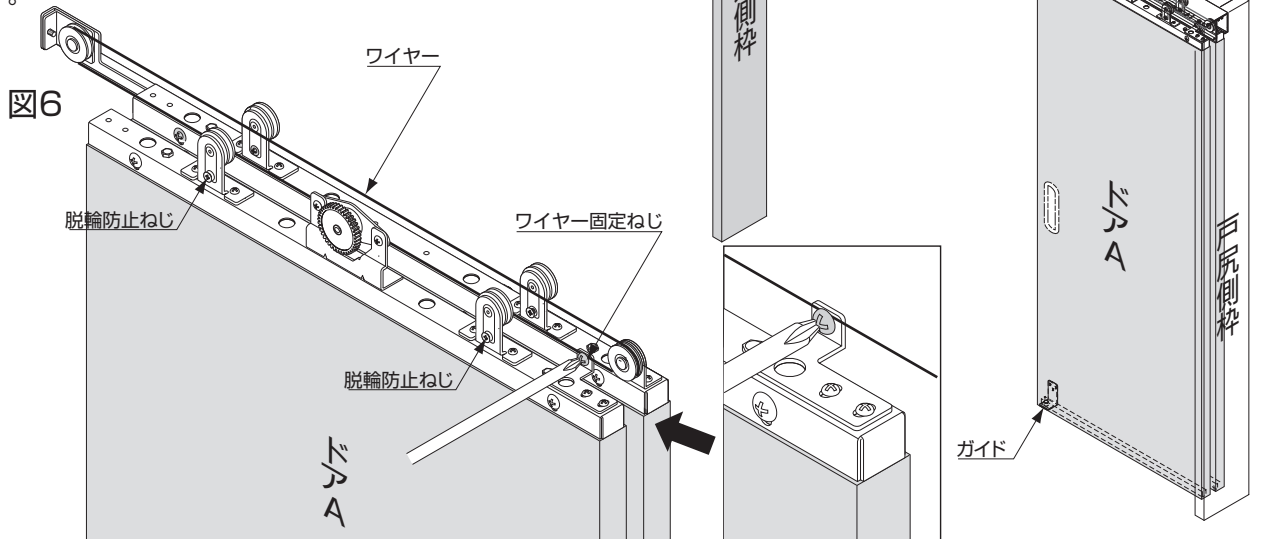
手順5. ドアAの吊り込み、ワイヤーの取り付け

■ ドアAの吊り込み

- ・吊り込みやすくするため、あらかじめドアA用ユニットの脱輪防止ねじを緩めておきます。
- ・ドアBに取り付けたガイドに、ドアAの加工溝を合わせ、上部の手前側レールに吊り込みます。

■ ワイヤーの取り付け

- ・図5のように両方のドアを戸尻縦枠によせます。
- ・ドアは2枚とも戸尻縦枠に押し付け隙間がない状態にしてください。
- ・図6の状態ですドアA用ユニットのワイヤー固定ねじを緩め、ワイヤーを挟み込んだ状態で固定します。

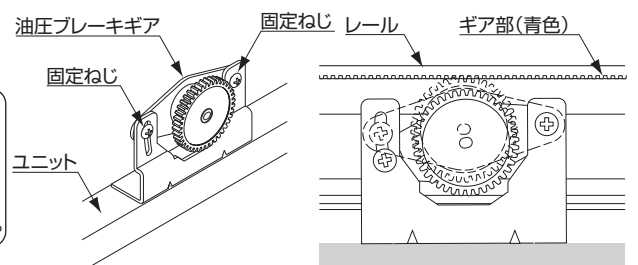


手順6. 油圧ブレーキのセット方法

- ・ユニット上にある油圧ブレーキギア2本の固定ねじを緩めます。
- ・レールのギア（青色の樹脂）部とかみ合わせ、滑らかに動く位置で調整ねじを締め込み、固定します。

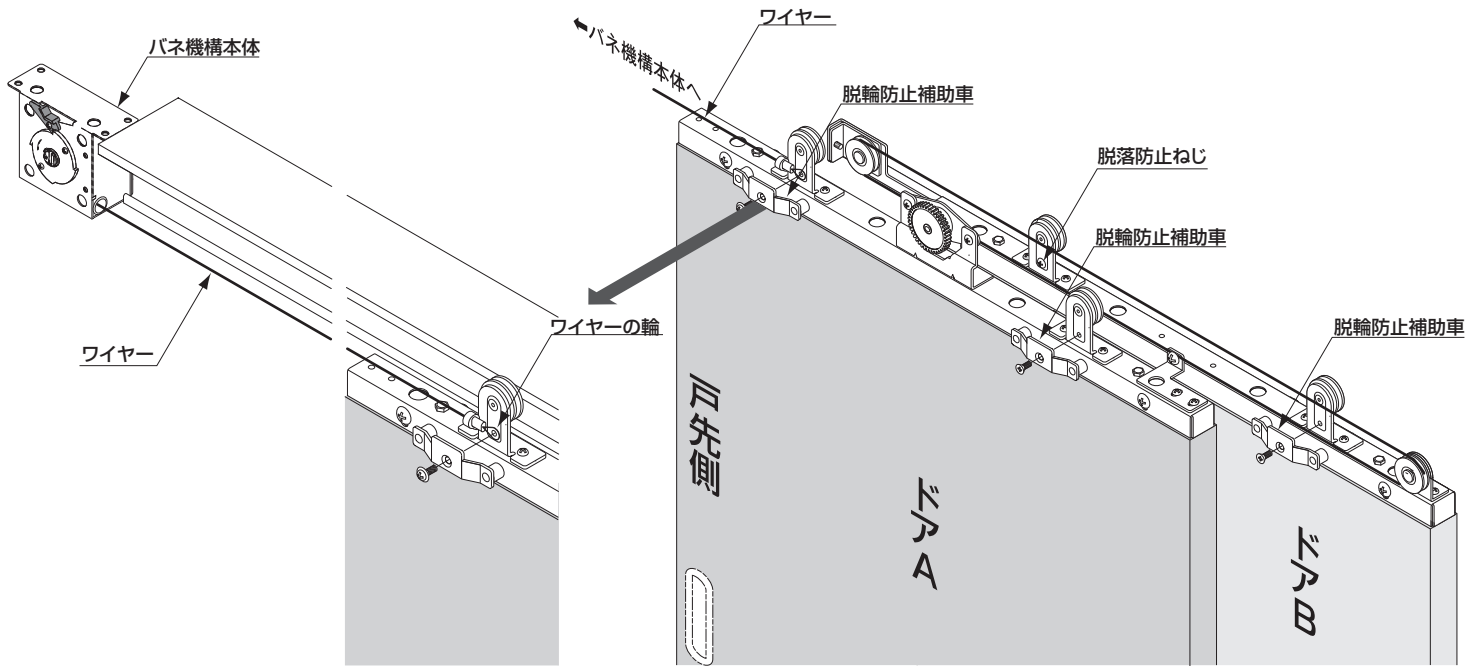
△注意

- ・油圧ブレーキギアをレールに無理に強く押し付けると、ドアが閉りにくくなります。
- ・かみ合わせを深くすると、ギアどうしの音鳴りが発生することがあります。音鳴りが発生した場合は、0.5から1ミリ程度かみ合わせを浅くしてください。



手順7.脱輪防止補助車の取り付け

- ・図のように、脱輪防止補助車3個を脱落防止ねじで取り付けてください。
- ・この時、ドアA戸先側の脱輪防止補助車は、バネ機構本体から伸ばしたワイヤー先端の輪と共締めしてください。
- ・脱輪防止補助車を付けないドアBの脱輪防止ねじも最後までしっかり締め込んでください。

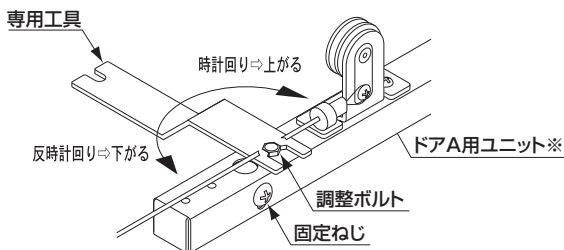


手順8.各部の調整

■ドアの上下(傾き)調整 (調整可能範囲: 出荷時位置から-6mm)

ドアを開閉した時、ドアと枠が当たる場合はドアの傾きを調整してください。

- 1.ユニット側面の4本の固定ねじを緩めます。
- 2.調整ボルトを専用工具で回し調整します。
調整ボルトを時計回りに回す→ドアを上げる。
調整ボルトを反時計回りに回す→ドアを下げる。
- 3.ドアの建て付けを確認してください。
再度調整が必要な場合は、2の手順を繰り返してください。
- 4.調整後、4本の固定ねじを全て締め付けてください。



※ドアB用ユニットも同様に調整してください。

■バネ機構本体の自閉速度調整

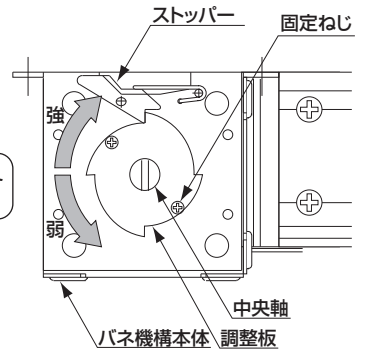
⚠注意

自閉速度は仕様範囲内で設定されています。閉まる速度があきらかに問題がある場合以外は絶対に調整しないでください。

- 1.ドアを全開にして固定します。(ワイヤーが最大に伸びた状態)
- 2.調整板の2本の固定ねじを抜いてください。
- 3.自閉速度を調整します。
速くする。→中央軸を「強」方向に回す。
遅くする。→ストッパーを押し上げ、中央軸を「弱」方向に90°づつゆっくり回す。

⚠注意: 回転範囲は左右5回転までです。それ以上回転させると、故障します。

- 4.自閉速度の確認をしてください。
再度調整が必要な場合は、3を繰り返してください。
- 5.調整後、調整板を固定ねじ2本でしっかりと締め付けてください。

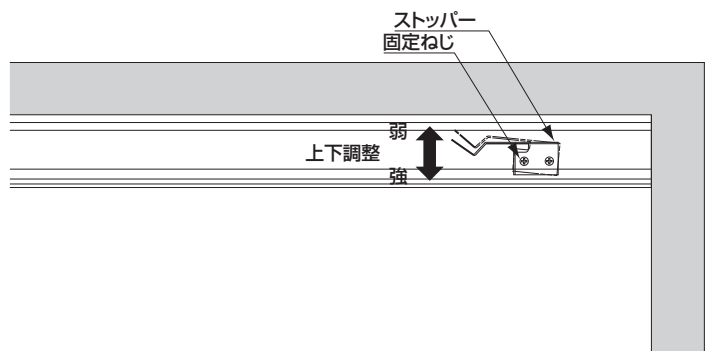


⚠注意

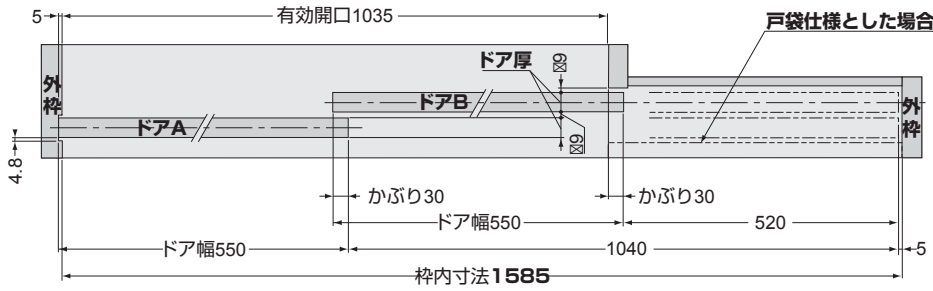
弱の方向に調整するとき、ストッパーに調整板が引っ掛かるように中央軸を90°づつマイナスドライバーで回してください。ストッパーを外してマイナスドライバーを溝より離すと、バネが一気に回転し戻るため故障します。

■ストッパーの強弱調整

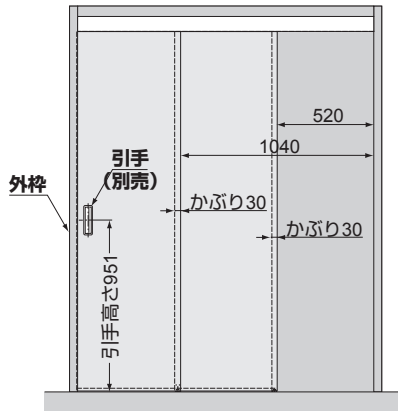
- 1.ストッパーを固定している2本のねじを緩めてください。
- 2.ストッパーの上下を調整します。
強く→下にさげる。
弱く→上にあげる。
- 3.固定ねじ2本を締め込んでください。
- 4.掛かり具合の確認を行ってください。



ドアの納まり寸法 (本図は右引きを示します。左引きは勝手違いとなります。)



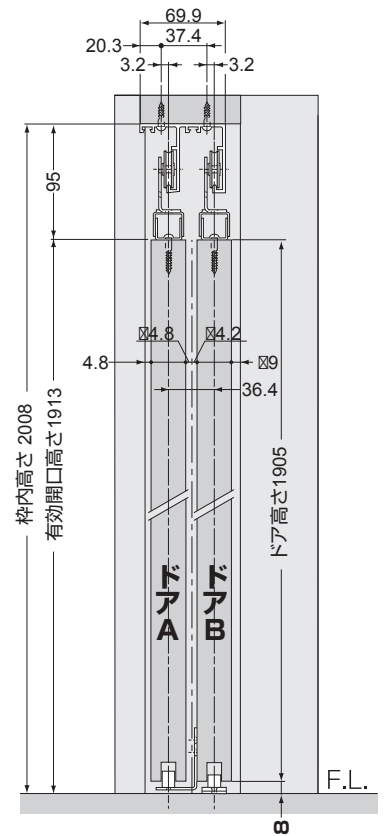
- ・本図は、ドア厚が28.4mmの場合の寸法です。ドアを厚くするとドアAとドアBの間隙寸法は少なくなります。掘込引手の寸法法にご確認ください。



■仕様

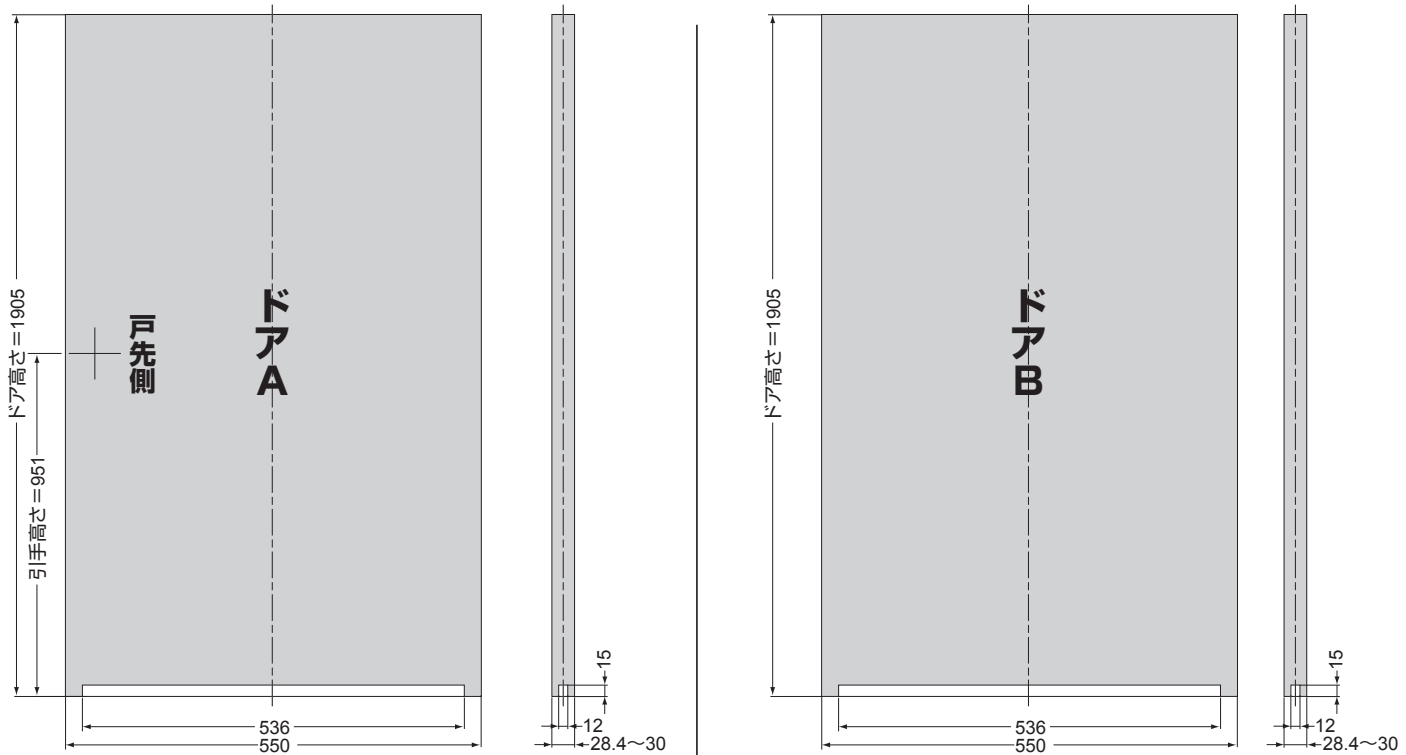
- ドア幅：550mm
- ドア質量：30kgまで（1枚当たり）
- ドア厚さ：28.4～30mm

注) 指定寸法に誤りが無いが、各部の水平、垂直が出ていないか、ドアの反りはないかを必ずご確認ください。



ドアの加工寸法

- ・ドアAの引手(別売)は、掘込みタイプをご使用ください。この時、引手の出寸法とドアA、ドアBの間隙寸法にご確認ください。
- ・戸袋仕様にした場合、収納時に引手が操作できなくなります。戸先木口面に回転取手などを併用してください。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 03(3864)1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く。国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
https://www.sugatsune.co.jp/ 2019.03 0158-5